

THE WORKSHOP

こどもの遊び場

10/27 SUN

いつもいきたくなる公園づくり

人口減少・少子高齢化や生活スタイルなど社会環境の変化によって、ニーズが合わなくなった公園が全国的に増加しています。一方で、インクルーシブ公園やパリオリンピックでも話題になっている「アーバンスポーツ」などニーズは日々変化している状況です。

行橋市の未来を担う子どもたちがのびのびと遊ぶことができる場所として、公園に求められる機能や可能性について学びます。そして、「いつもいきたくなる公園」を市民の皆さんで話し合い、市に提言をするイベントです。

10/27(日)開催、場所はリブリオ行橋(14:00～16:30)。詳細は下記二次元コードから。
※当日は託児があります。(無料)



申込み方法などの詳細はコチラ
もちろん無料です

私が講師を担当します！

フランニング開

新田 新一郎 さん



教育、子ども文化、まちづくりなどをテーマに「地域をプロデュースする事業を展開し、大学の講師や全国子ども会連合会代議員などを歴任。遊びと美術を融合した「あそびじゅつ」をコンセプトにしたワークショップを開催するほか、全国の保育士、幼稚園・小学校教諭を対象とした研修会を企画・運営するなど、全国的に活躍をされています。

子どもたちの意見と主張 (AはQに対する市長の答弁)



左:古武さん(行橋中)／中:東野さん(今元中)／
右:平原さん(延永小)

Q

外遊びをする子どもが減っていると感じる。運動能力の低下を防ぐため、大きな公園が必要。学校や家の近くに公園がない。遊具がたくさんある公園を増やしてほしい。
自分たちでいける距離に、ボール遊びができる大きな公園を作ってほしい。

A

総合公園レベルは(費用や時間上)難しいと思うが、ある程度の広さの公園を作ることについては考えてみたい。皆さんが楽しいと思うような公園づくりを検討したい。

子ども議会
で市に意見しました！

行橋市を代表する都市公園



長井浜公園(左)には、カフェや宿泊施設が併設されており、海を眺めながらのランチがおすすめ。総合公園(右)にはボール遊びができる広さと、草そりができる場所や、未就学児を中心とした遊具が設置されています。



②はつくる側の問題です。都市公園の整備は、想像以上にお金がかかります。大型遊具の設置ともなれば、一機あたり2〜3千万円。当然ながら、遊具も植栽も管理が必要です。人が集まる人気の公園は、設計はもちろん、きちんとした管理者が雇われ、それらの費用がかけられているのです。

③は、「わざわざ多額のお金をかけて整備しなくても、近くにある」といった方が正しいでしょう。確かに北九州市や福岡市であれば、高速道路でのアクセスが良好です。ただし、利用者は毎回時間とお金がかかります。大きな公園で遊びたい人だけがお金と時間をかける。こ

これは一見公平に聞こえますが、公園は季節性のレジャー施設とは異なり、日常的な利用ができるものです。そのまらにとつて公園が「嗜好品」や「贅沢品」に当たるとなるとは多くの疑問が残ることです。

これは一見公平に聞こえますが、公園は季節性のレジャー施設とは異なり、日常的な利用ができるものです。そのまらにとつて公園が「嗜好品」や「贅沢品」に当たるとなるとは多くの疑問が残ることです。

これからの公園

はもちろんのこと、子どもたちがのびのびと遊び、多世代の大人たちがそれを見守りながら憩う、行橋市に住み続けることのワンシーンとなるような公園が求められるでしょう。

実は、日本の公園は欧米に比べると遅れています。欧米の公園は、段差がない、車椅子でも遊べる遊具がある、など「インクルーシブ公園」がスタンダードとなっています。

いかがでしょうか。年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが自然と笑顔になれるような公園に興味を湧いてきませんか。ワークショップに参加して、意見をぜひ聞かせてください。

NO PARK NO LIFE



「週末は公園で遊びたい！」
「市内におすすめの公園ある？」
こんな質問に、皆さんはどう答えていますか。

公園は少ない？

「行橋市は公園が少ない！」この声は本当でしょうか。公園にはいろいろな種類があります。国や地方自治体が整備する公園を「都市公園」と呼びます。その都市公園も規模は様々。大分県が運営する「ハーモニーランド」、国が運営する「海の中道海浜公園」も都市公園で、行橋市内にも33箇所の都市公園があります。その代表は養島にある「行橋総合公園」、長井にある「長井浜公園」、そして行事にある一番新しい「長浜公園」です。

都市公園には設置基準があります。(下図参照)その基準と現在の整備状況と比較すると、およそ半分となっており、都市

公園は贅沢品？

では、なぜ少ないのでしょうか

か。はつきりとはしませんが、①山・川・海など公園と同じく遊び場となる自然がある。②お金がかかる。③市内になくても近隣にある、などが理由として考えられます。

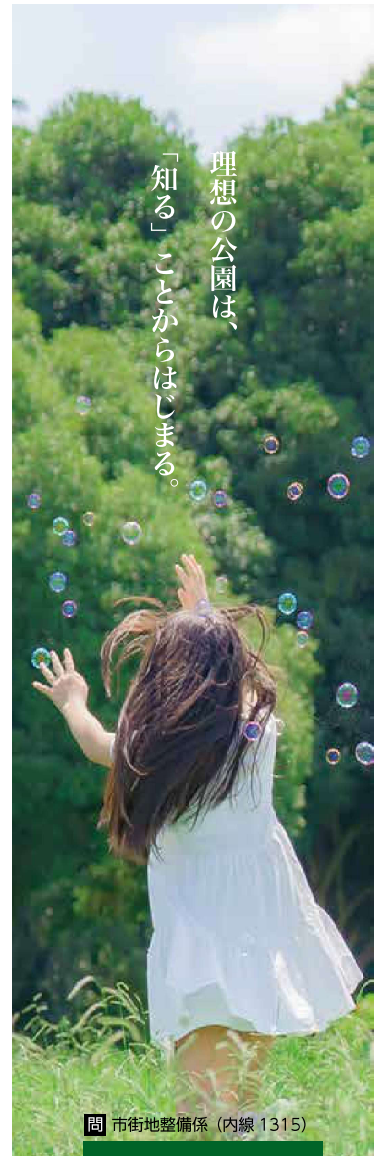
①について、以前は家の近くの「空き地」や「自然」で、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊ぶ風景をよく見ていました。しかし、遊ぶ空き地が少なくなったこと、自然の中で遊ぶリスクが顕在化していることは、時代の流れとも言うべきでしょう。さらに最近では、子どもが「騒音」として議論になることもあり、公園内でも「大声を出さない」「ボール遊びは禁止」などといったルールが作られ、子どもたちののびのびと「遊ぶ」ことの出来る場所ほとんどなくなってきました。

都市公園の面積(市民1人あたり)



都市公園 map

長浜公園やその他の都市公園の所在地(Google マップ)は、二次元バーコードから見るができます。



理想の公園は、「知る」ことから始まる。

